

2017年度

第*回	日付・講師	タイトル	内容	写真
22	2017/4/12(水) 【講師】 室谷健太講師	『今年度の活動と統計雑学』	第22回は2017年度の展望と統計雑学、というテーマで、統計学の簡単な歴史とおすすめテキスト、統計ソフトウェア雑学を話題提供しました。今年の当センターの展望は、計6回の基礎統計コース(2カ月1回予定)と、合間の月に広く医学研究に役立つ話題提供をしてまいります。次回は基礎統計コースの第1回を行います。奮ってご参加ください。	
23	2017/5/24(水) 【講師】 室谷健太准教授	医学統計基礎シリーズ 第1回『記述統計と2群比較のキホン』	第23回は隔月開催の基礎統計コースの第1回として、記述統計と二群比較の基礎についてレクチャーをしました。記述統計とひとことで言っても使いどころがありました。SDとSEの違いについても紹介しました。二群比較については次回(7月予定)の基礎統計コース第2回で残りを紹介して新たな話題へ進みたいと考えています。	
24	2017/6/28(水) 【講師】 室谷健太准教授	『サンプルサイズ』	第24回はサンプルサイズをテーマにトークしました。n、効果量、バラツキ、 α エラー、検出力の関係性を通じて、何がどう変わるとnがどう変化するのか、nの動きの感覚を示し、臨床研究デザインやエンドポイント別にどういったnの決め方があるか紹介しました。	
25	2017/7/26(水) 【講師】 室谷健太准教授	医学統計基礎シリーズ 第2回『2群比較と多群比較』	第25回は基礎シリーズ第2回として、2群比較と多群比較をテーマにレクチャーしました。基本の検定手法の使い分けを2群、多群で紹介した後、多重比較の必要性と対処法について紹介しました。参加者は約100名と盛況でした。次回は応用編のテーマで開催します。	
26	2017/8/30(水) 【講師】 室谷健太准教授	『後ろ向き研究における2群比較の方法 ~伝統的方法とプロペンシティスコア解析~』	臨床論文ではよく目にするようになったプロペンシティスコア解析の使いどころと解釈についてレクチャーしました。観察研究における2群比較のポイントはいかに調整因子を調整して比較可能性を高めるか、という点にありました。マッチングやIPTWがどうやって対応しているのか議論しました。	
27	2017/9/27(水) 【講師】 室谷健太准教授	医学統計基礎シリーズ 第3回『相関と回帰』	第27回は基礎シリーズ第3回として相関と回帰がテーマでした。相関係数の解釈と、使用上の注意点を例題を通じて紹介しました。回帰分析は身近な話題から入り、何をするための手法なのか、どう解釈するのか、といった点を中心に回帰分析の基礎をレクチャーしました。	
28	2017/10/25(水) 【講師】 室谷健太准教授	『クラスター分析』	第28回は教師なし学習の1つであるクラスター分析について考え方と実施例を紹介しました。階層型、Kmeans、それぞれの良い所、悪い所についてレクチャーしました。目的はシンプルなので身近に感じて頂けたのではないかと思います。応用編では、これからは普段あまり聞かない統計についても紹介してまいります。	
29	2017/12/13(水) 【講師】 室谷健太准教授	医学統計基礎シリーズ 第4回『重回帰とロジスティック回帰』	第29回は重回帰とロジスティック回帰をテーマに回帰分析の考え方と適用の注意点をお話しました。そもそも回帰分析とは何をたくて使われる方法なのか、また、どういう結論を得ることが出来る方法なのか、考え方を学ぶ機会になったかと思えます。また、多変量解析をするとき、どうやって結果をまとめていけばよいのか、適用上のコツについても紹介しました。研究会や学会発表で触れたことがある方も多くいらっしゃったので、興味深く聞いて頂きました。	
30	2018/2/21(水) 【講師】 室谷健太准教授	『ROC解析とその周辺について』	第30回では検査法の評価のための基本として、感度・特異度・ROC曲線を中心にレクチャーしました。なぜROC曲線は左上に膨らむほど(AUCが大きいほど)よいのか、バイオマーカーの分布をキーワードに図表を使いながら直感的に解説しました。さらにバイオマーカーのカットオフの決め方についても言及しました。	
31	2018/3/14(水) 【講師】 室谷健太准教授 大橋渉非常勤講師	『今年度の総括』 『個別化医療時代の創薬と投薬』	第31回は室谷先生との合同で、平成29年度の総括を行いました。また、平成30年度赴任予定の大橋渉非常勤講師より、個別化医療に伴う遺伝子情報、ゲノム情報利用の技術的、倫理的側面を紹介させて頂きました。	